

- 生物生産の場における生理的・化学的制御
- リプロダクション制御系の基礎理論
- 熱帯地域における疾病に関する広領域的基礎研究
- 毒性発現機構と有害性の評価
- 血球凝集機構の解明

11-12

原子力研究・利用三原則要求声明25周年に際しての声明（声明）

昭和54年10月26日 第78回総会

1954年4月、日本学術会議は、原子力の研究と利用に関し公開、民主、自主の原則を要求する声明を行った。

本会議が提唱したこの三原則を要求する声明は、その後我が国の原子力の研究と利用のよりどころとして、大きな役割を果たしてきた。しかしなお、我が国の原子力政策において、この三原則が定着しているとは言い難い。

原子力三原則要求声明25周年にあたり、本会議は、今日改めて三原則のもつ重要性を確認し、その精神が正しく継承発展されるようここに広く訴えるものである。

11-13

総学庶第1550号 昭和54年11月9日

郵政大臣 大西正男 殿

日本学術会議会長 伏見康治

（写送付先：大蔵大臣、文部大臣）

学術刊行物の郵便料金について（要望）

標記について、日本学術会議第78回総会の議決に基づき、下記のとおり要望します。

記

現代の科学・技術の進歩において学術情報の円滑な流通は、緊要・不可欠な前提条件であり、かつ、これを保障することは学術振興の施策として最も重要であります。このことについて郵便法第26条第1項第6号で第4種郵便として指定されている学術刊行物の料金について、現在特段の措置が講ぜられていることは、学術の振興に大きく貢献しているところであります。ついては、現在政府において検討中の郵便料金引上げを実施する場合においても、上記学術刊行物の料金を現行のまますえ置かれるよう格別の配慮を要望します。

〔別紙〕

説 明

現代の科学及び技術の進歩において、学術情報の円滑な流通が緊要・不可欠な前提条件をなすことはいうまでもなく、研究開発の成果ができる限り速やかに、かつ広範に伝達できるよう助成することは学術振興のための施策として最も重要なことであります。

学術研究の成果の発表、伝達的手段として最も重要な役割を果たしているのは、主として学・協会が刊行しているいわゆる学術雑誌であり、これら学・協会の諸経費の中で、学術雑誌の郵送に要する費用の占める割合は多く、昭和41年に学術刊行物に対する特別の料金が設定されたことは、学術振興に大きな寄与をしてきております。

今回政府において郵政特別会計の赤字解消のため、郵便料金の値上げが検討されているようですが、現在、学・協会の財政は極めて困難な状態にあり、郵便法第26条第1項第6号で指定されている学術刊行物の料金が引上げられれば、学・協会の多くはその財政上著しい困難に直面することになります。

本会議は、毎年2回学・協会との懇談会を開催していますが、その度に学・協会側から郵便料金の問題が提起されています。

以上のことを深く憂慮し、ここに前記の要望を行います。

11-14

総学庶第1551号 昭和54年11月9日

国立国会図書館長 岸田 實 殿

日本学術会議会長 伏見 康 治

(写送付先：文部大臣)

「新収洋書総合目録」の磁気テープ化について(要望)

標記について、日本学術会議第78回総会の議決に基づき、下記のとおり要望します。

記

本会議は、昭和24年政府に対し「ユニオンカタログについて」の勧告を行った。このうち、洋書に関するものは、国立国会図書館において「新収洋書総合目録」として刊行され現在に至り、学術研究にとっても大きな寄与をしてきた。

最近において、情報処理技術における電子計算機の利用により、このような図書目録等を磁気テープ化したものが次第に多く用いられるようになってきた。その傾向は欧米において特に顕著である。磁気テープ化したものは文献検索の上でも極めて有用で、学術研究に多大な貢献をするものであり、特に離れた場所から通信回線を介して利用することも可能になる。現在の大学図書館等についてもこれを利用する設備を持つところも漸次増加しつつある。

以上の理由により、現在、国立国会図書館で刊行されている印刷物としての「新収洋書総合目録」のほか、これを磁気テープ化したものを作成し、頒布する措置をとられるよう要望する。

(別紙)

説 明

我が国の国規模におけるユニオンカタログ(総合目録)の編集・刊行に関しては、単行本(洋書)については国立国会図書館、学術雑誌については文部省が担当し継続して行っている。

文部省においては欧文雑誌の総合目録についての磁気テープ化の計画が新たに進められ、人文・社会科学のものについては現在進行中である。